

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[2] 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル (別名：エトフェンプロックス)</p> <p>[9] 3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名：ペルメトリン)</p>	<p>【水質】</p> <p>水質試料 500mL</p> <p>振とう抽出 ヘキサン 1回目50mL、2回目20mL 各10分間</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>サロゲート物質添加 エトフェンプロックス-d<sub>5</sub>、ペルメトリン-d<sub>5</sub> 各50ng</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 1mLまで</p> <p>妨害物質が多い多い試料については 下記※の工程を実施。</p> <p>濃縮 窒素バース 乾固まで</p> <p>溶解 ヘキサン 1mL</p> <p>GC/MS-SIM-EI</p> <p>内標準物質添加 ペリレン-d<sub>12</sub> 10ng ポリエチレングリコール 200μg</p> <p>※ カラムクリーンアップ Sep-Pak Silica 690mg 溶出：ジエチルエーテル/ヘキサン(2:98) 8mL</p> <p>「平成29年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [2] 2.2 [9] 0.31</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 7890B MS：JEOL JMS-Q1500GC 他 カラム Agilent J&amp;W DB-17ms 30m×0.25mm、0.25μm 他</p>

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[2] 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル (別名：エトフェンプロックス)</p> <p>[9] 3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名：ペルメトリン)</p>	<p style="text-align: center;"><b>【底質】</b></p> <p>注) 底質からの抽出操作において高速溶媒抽出を行った例があった。  「平成29年度化学物質分析法開発調査報告書」に準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値：  <b>【底質】</b> (ng/g-dry)  [2] 0.14  [9] 0.22</p> <p>分析条件：  機器  GC：Agilent 7890B  MS：JEOL JMS-Q1500GC 他  カラム  Agilent J&amp;W DB-17ms  30m×0.25mm、0.25µm</p>